

平成 30 年度仙台市認知症対策 主要事業の取組み方針及び計画

本市では、「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の 7 本柱に沿ってそれぞれの対策を継続して実施している。実施に当たっては、認知症のご本人が主体となる医療・相談・支援が行われ、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症当事者の声を積極的に取り入れるなど、関係機関等と連携を図りながら事業を推進する。

1 普及啓発

① 認知症サポーターステップアップ研修の実施【新規】

認知症サポーター養成講座を修了した人を対象にステップアップ研修を実施する。

【対象】市内の認知症サポーター修了者

【回数】2 回／年（8 月・2 月実施予定）

【時間】1 回 3 時間程度

【講師】キャラバンメイト、認知症当事者、家族、認知症カフェ運営者等

② キャラバンメイトスキルアップ研修の実施【新規】

キャラバンメイト養成講座を修了した方を対象にスキルアップ講座を実施する。

対象：キャラバンメイト養成講座修了者

【回数】1 回／年（2 月実施予定）

【時間】1 回 3 時間程度

③ テキスト作成ワーキングの実施【新規】

キャラバンメイトスキルアップ研修（2 月実施）に向けたテキスト作成のワーキングを年 4 回（7・9・11・1 月）実施する。

④ 認知症サポーター情報交換会の実施【新規】

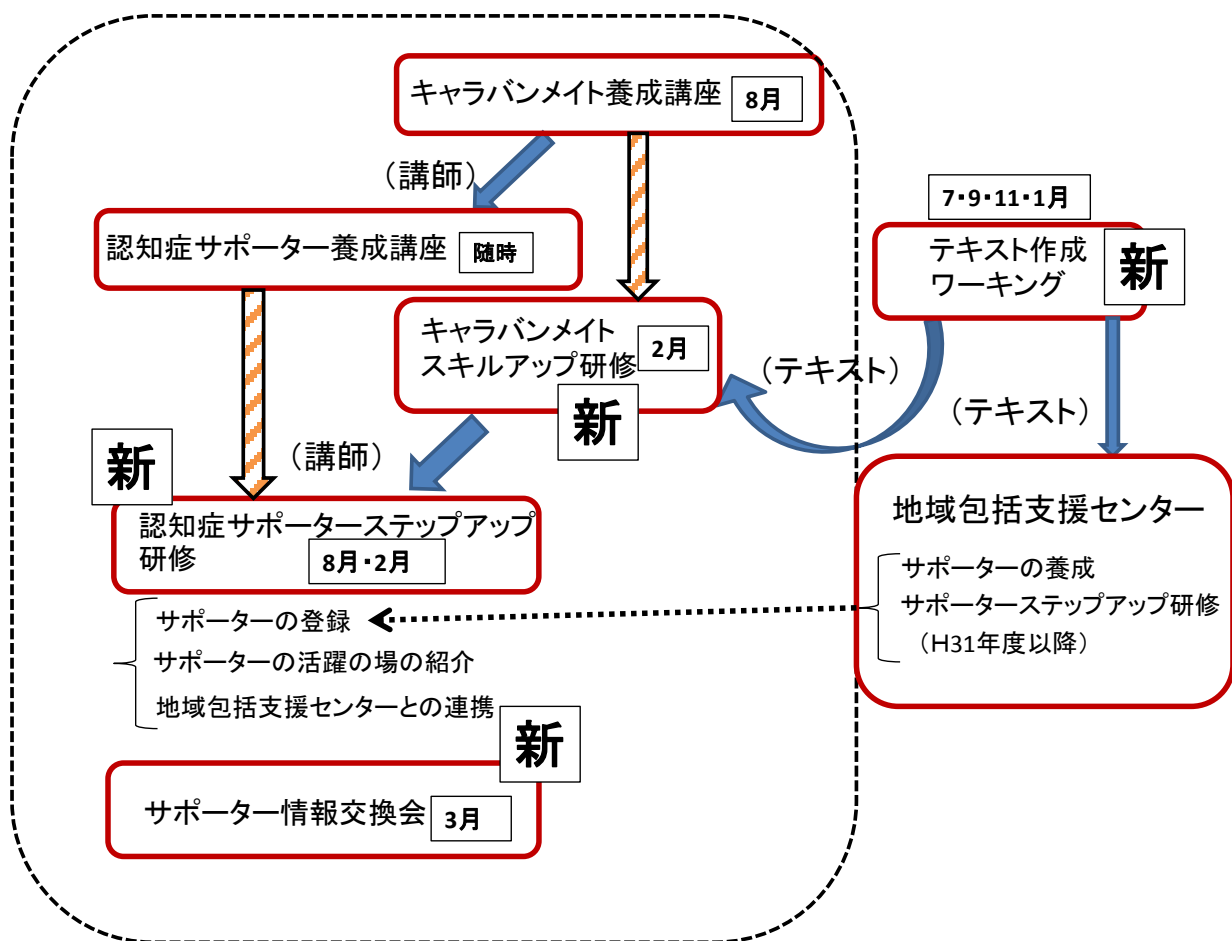
認知症サポーター同士の情報交換会を実施する。

【日程】平成 31 年 3 月（予定）

【対象】地域包括支援センター、認知症サポーター、町内会、地区社協等

【内容】活動の好事例紹介（予定）

【新規事業についてのイメージ図】



※新規事業を進める前に、関係者へヒアリングを実施。ヒアリング結果については、資料2-①、資料2-②参照。

2 認知症の人とその介護家族支援

(1) 認知症ケアパスの作成・普及

① 仙台市認知症ケアパス（全市版・地域版・個人版）の普及

広報について、ワーキングで出た意見等を踏まえ、より効果的な手法を検討する。

② ケアパスワーキングの実施 **【新規】**

当事者、家族、医師、地域包括支援センター、区職員等をメンバーとしてワーキングを年2回程度実施予定。3種のケアパスの配布状況、活用事例の紹介、普及・啓発の方法について検討予定。

【日時】 第1回 平成30年8月実施予定

(2) 仙台市認知症の人の見守りネットワーク事業

認知症の人が行方不明になった時に、協力者あてに情報をメールで配信し、早期の発見・保護につなげるもの。平成30年3月より運用開始し、平成30年5月末時点で利用者数 21人。協力者数 175人。

今年度末（平成31年3月末）までに、利用者数100人、協力者数1,000人登録を目標とし、普及・啓発に努める。

また、メールマガジンを定期的に発行し、認知症に関する有益な情報を提供できるよう努める。

【主な広報活動予定】

- ① 防犯連絡協議会【7月28日（土）】見守りネットワーク事業
- ② リビング仙台等の地域の情報誌 サポーター養成講座、仙台市認知症ケアパス、見守りネットワーク事業掲載予定
- ③ その他 認知症カフェや圏域会議、介護事業者対象の集団指導等でPR

〈参考 利用者・協力者数推移〉

	H30.3.1	H30.3月末	H30.4月末	H30.5月末
利用者数(人)	0	9	16	21
協力者数(人)	0	99	134	175
メール配信数(件)	0	0	1	2
発見件数(件)	0	0	1	2

※数字は累計

